

第3回パーティポート施設のあり方検討委員会 議事要旨

日時：令和7年4月17日（木）10：00～12：00

場所：中央合同庁舎2号館1階共用会議室3A・3B

議事要旨

- Skyports 株式会社及び大分県より、空飛ぶクルマ及びパーティポートの取り組みについてヒアリングを行った。
- ユースケースを踏まえたパーティポートの必要な機能・分類について意見交換を行った。

（委員からの主な発言）

- 分類の目的、分類を何に活かすのかアウトプットのイメージを明確にする必要がある。将来的には地方自治体等が交通計画を検討する時の参考になるような役割を果たせると良い。
- 「パーティポートの規模、機能」の組合せに加えて、「都市の規模」で分類を考えるのも有益。4つの分類のネーミングを工夫すること。
- 整備コストや着陸料収入など事業採算性の面からの検討も重要であり、国・地方自治体等の公共支援をどこまで行うのかという議論も必要ではないか。
- 機体の大型化にも対応できるよう、将来の拡張性を持たせることも重要な視点である。
- 特に交通不便地域や限界集落などにおいては、長期的には自動車・バス等の自動運転との結節も政策的に重要な視点となる。

以上